



みちくさ

放浪篇 No.8

平成 29 年 9 月 6 日



ツール・ド・そば街道参加体験記

9月3日、山形県村山市、大石田町、尾花沢市にまたがる地域を走る自転車のイベントに参加してきました。いつからやっている大会なのか分かりませんが、私は初めての参加でした。

前日の土曜日に、受付に行かないといけないのです。わざわざこのために、村山市まで出かけていきました。受付はものの5分くらいで終わりましたから、そのためにガソリン代をかけて出かけるというものなのでしょう。でも、考えてみると、これは町おこしのイベントとして企画されているものなので、当然地元としてはお金をたくさん落として欲しいと考えるはずです。私と同じように県外からの参加者も大勢いて、大部分の人は、近くの東根とか

に宿泊して参加したようです。

この大会は30キロ、70キロ、100キロと、クラスが分かれています。どのクラスに申し込むか、これは悩みました。100キロを走ったことがない訳ではありませんが、普段の週末に走れるときには、40キロ程度しか走っていないので、さすがに30キロは物足りないだろうな、でも100キロは最初から眼中には無く、そうすると70キロしか残っていないわけです。まあちょっと頑張ればなんとかなるかなと思っていました。

コースを地図で確かめてみると、おおむね平坦な道のりであり、ただ、尾花沢に入り銀山温泉へ向かうコースはだらだらの登りで、実際に走ってみると思ったよりも疲れしましたね。

台風15号が近づいていて、当然天気予報は雨マークがついておりました。小雨決行ですので、そのためにヘルメットの中に装着するスイミングキャップのようなものを準備しようと市内の自転車専門店を回りました。ただ、

市内では見つけれず、しかたなくヘルメットの上に装着する雨よけを購入し、準備万端で臨みました。

大会当日、スタートは7時半と早いのです。7時からブリーフィングがあるということなので、遅くても6時半頃までには着かないと間に合わないと考え、5時半には仙台を出なければならぬ計算になります。そのため、当日朝は4時半起きで、コ



コンビニでおにぎりを購入し、おにぎりをほおぼりながら高速で村山市に向かいました。

さて、会場駐車場につくと、いるいる、いかにもサイクリストだという面々が。所有している自転車も、へえ～こんな高いやつと思うものも見かけます。それに同じサイクルジャージに身を固めた面々もいて、なにやら威圧的に見えますね。でもこっちは一匹狼の還暦ライダーなので、何も怖いものはありません。スピードレースではないので、所詮楽しく走るだけなのです。

今回、予報では雨から晴れに変わり、日中の気温も28度くらいまで上がるということだったので、ジャージの選択に悩みました。要は半袖か長袖かということです。朝方はまだ15度くらいしかないので長袖でもいいのですが、走っていると温まるし、気温も上がると当然暑くなるなど予想されましたので、今回は半袖のジャージにアームウォーマーを着用というスタイルにしました。雨具一式は、今回は車の中に全ておいて参加しました。

スタート時間になると、10人ずつ2分間隔でスタートします。私がスタートしたのは、だいたい



7時50分くらいだったでしょうか。福島から参加しているという二人組が、いきなりスピードアップして飛び出していきました。何も急ぐ必要ないので、もちろん私はマイペースです。10キロくらい行ったところで、路肩に自転車を止めて「げーげー」吐いている若者を見つけました。「なんだ？だらしない、まだ始まったばかりだぞ」と思いましたが、調子に乗って昨日あたり飲み過ぎたか。自転車は体調の変化がてきめん表れてきます。自分もなんかペダルが重いとか、今日は調子悪いなと思ったときには、

気づかないで風邪を引いていることもありました。

17キロ進んだところに第1エイドがありました。自転車のイベントでは、エイドステーションが何か所かあり、そこでは地元のもの食べられたり、水分を補給できたりできるのです。第1エイドは大石田町の「あったまりランド深掘」という温泉でした。ここでは蕎麦をその場で茹でて食べさせてくれました。さすが蕎麦街道と名前がつく場所です。蕎麦も腰の強い10割蕎麦かなと思いました。

第1エイドを過ぎると、今度は銀山温泉方面へひたすら奥羽山脈に向かって走ります。坂というほどではありませんが、だらだら登りでした。第2エイドは銀山温泉の入り口にある大正ロマン館の駐車場で、ここでは玉こんにゃくのお振る舞いでした。今回第2エイドまで来ると、だいたい半分くらいなのでしょう。銀山温泉入り口で折り返し、今度はひたすらスタート地点の村山市に戻っていきます。

途中、徳良湖のオートキャンプ場で第3エイドです。ここでは山形の芋煮が出てきました。



もちろん、山形ですから醤油味の牛肉満載です。どこかの県の単なる豚汁でないの？というモノではありません。ここまでで47キロでした。

第4エイドは村山市の桃とバラゼリーが出てきました。村山市には東沢バラ公園といって、一面バラを展示している公園があるくらいです。バラが土地の名産なのでしょうか。バラの味？のゼリーも、なかなかもちもち感満載で美味しかったですね。

第4エイドを過ぎると、あとはほんの目と鼻の先。ゴールにたどり着いたのはまだ12時前でした。

ところで、丸森の大会（今年も出ますが）では、名前の入った完走賞やら、名産品の詰め合わせなどももらえたのですが、こちらは、完走賞といって小さなシールだけ。え？これだけと少々肩すかしをくらいました。まあ名産品目当てで参加した訳ではないので、別にいいのですが、完走賞ぐらいは、飾っておける大きなモノが欲しかったなあと思います。

さて、来月は丸森の大会、そして再来月は上山の大会にも参加します。今年はこの三本で終わりですね。だんだん体力的には落ちてきているわけですから、いつまで参加できるか分かりません。それにいい自転車にも買い換えたいなという願いがありますが、年齢を考えたら無駄になるのは分かるので我慢ですね。

大会が終わって、東根の日帰り温泉につかってきました。自転車を終えた後の温泉はこたえられませんね。でも、その後の車の運転では、眠くて眠くて大変でした。

今回の大会では、途中の団子屋で自転車をとめ、地元の美味しい団子を食べている人が居たり、父親が小学校高学年くらいの娘を参加させ、自分も併走していたり、もっと可笑しかったのは、自転車の荷台に犬を乗せ、その犬にもヘルメットを着用させていたり、大会を楽しんでいるなど思う人たちが多かったですね。一方で70キロのクラスでは、チームとして参加し、がんがん走っている若者たちが居るわけで、いろいろな楽しみ方があるのだなと思いました。

山形は、今の季節真っ白い蕎麦の畑が至る所に見られました。稲穂も色づいており、稲穂の匂いの中を、軽やかに自転車で走るといっても気持ちよかったです。

